

世界に挑戦する 16 才の新星

鳥羽咲音 チェロ・リサイタル

ピアノ：鳥羽泰子

会場：カピオホール

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 1-10-1
TEL 029-851-2886

2021年12月21日(火) 開演19:00
(開場18:00)

全席自由 大人 2000円 小・中・高校生無料

チケットのお申込先 080-6788-0693
(北条街づくり振興会) 9時～17時

北条街づくり振興会では、世界で活躍する演奏家によるリサイタルを長年にわたり「宮清大蔵」で開催し好評を博してまいりました。しかしながら未曾有のコロナ禍が終息するまでは蔵でのコンサートは難しく、今回は文化庁の助成を受けましてカピオホールで開催することになりました。

音楽と芸術で街づくりを進めております当会に今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

北条街づくり振興会会長 坂入 英幸

Program

ベートーヴェン/
ピアノとチェロのためのソナタ第1番へ長調 作品5-1

黛 敏郎/BUNRAKU

チャイコフスキー／奇想的小品 作品62

プロコフィエフ/
チェロとピアノのためのソナタハ長調 作品119

Profile

チェロ／鳥羽 咲音 <とば さくら>

2005年に音楽家の両親のもと、ウィーンで生まれる。現在16歳。6歳から毛利伯郎氏に師事している。アントニオ・メネセスやダーヴィド・ゲリンガスのマスタークラスにも参加した。

2018年第18回泉の森ジュニア・チェロ・コンクール中学生の部で金賞を、第19回モスクワ若い音楽家のためのコンクール「くるみ割り人形」弦楽器部門で銅賞を受賞するなど、数多くのコンクールで入賞、優勝を果たした。2019年3月に初のソロ・リサイタルを開催し、翌月には「鳥羽咲音の音楽活動を応援する会」が発足した。同年10月にはサントリーホールで沼尻竜典指揮、日本フィルハーモニー交響楽団と「とっておきアフタヌーン」コンサートで共演し、チャイコフスキーの「ロココの主題による変奏曲」を演奏した。さらに11月には白寿ホールで「チェロ・コレクション」Vol.6 に出演。同月には、世界に挑む若い音楽家とアスリートに贈られる第2回「服部真二音楽賞」を受賞した。2020年になると、NHK-FM「リサイタルパッション」に出演。そして6月から10月にかけて連続リサイタルを

開催し、多くの讃辞が寄せられた。11月には山田和樹の指揮による横浜シンフォニエッタとハイドンのチェロ協奏曲第1番を共演し、その演奏をワレリー・ゲルギエフに称賛されている。2021年からは、Music Giving代表としてクラシック音楽の普及活動も行っている。また、同年8月に「若林暢音楽賞」を受賞。11月にはリッカルド・ムーティに豊かな音楽性を評価された。

使用楽器は2020年製のクレモナのAmorim工房で製作された1739年モデルのMontagnana “Sleeping Beauty”。また弓はJIN工房 陳昌龍製作を使用している。

2020年4月から同年度の特待生として、桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コースに在籍。また2021年度は同大学の「チェロアンサンブル・サイトウ」奨学生。同年4月から公益財団法人江副記念リクルート財団第50回(2021年)奨学生および、9月より公益財団法人ロームミュージックファンデーション2021年度奨学生。

公式ホームページ：www.sakuratoba.com

(2021年11月現在)